

Aコープ赤碕店閉店に伴う買物環境確保について

企画政策課

1 承継の状況について

- ・現在、赤碕店の承継に向けた協議が進んでいる状況にあり、東宝企業とJA鳥取中央との間で、細部について調整中と伺っている。
- ・赤碕店 令和5年9月15日（金）閉店

2 町の支援について

- ・先般、東宝企業から出店に関して、「補助金を辞退する。赤碕店承継については、辞退とは関係なくしっかりやっていく。」との連絡を受けた。
- ・このため、臨時議会を開催し、補正予算の計上を予定していたが、取りやめる。

[補助内容]

琴浦町からは、出店に関する補助制度について次の内容を提示

- ① 補助事業者 東宝企業(株)
- ② 補助金額 17,000千円 [県補助金8,500千円、一般財源8,500千円]
- ③ 対象経費 冷蔵陳列ケース購入費、配達用軽トラック購入費
- ④ 補助率 1/2

[辞退理由]

社内検討の結果、会計処理上、補助金を受けない方が良いという結論に達したため。

3 給食食材の配達について

- ・9月3日（日）をもって、Aコープ赤碕店の配達業務終了予定
- ・9月以降の給食食材の購入・配達については、赤碕店再開までの期間を東宝由良店により対応する予定

4 琴浦町買物環境確保計画（Aコープ赤碕店）について

- ・7/19付けで鳥取県に対して、別添のとおり提出

5 トピア店の状況について

- ・令和6年3月26日（日）閉店
- ・赤碕店の承継を優先して調整中であり、具体的な協議が進んでいない状況。
- ・現在、町としてはトピア店の承継に対する支援は検討していない。

琴浦町買物環境確保計画（A コープ赤碕店）

1 店舗名

A コープ赤碕店

2 閉店時期

令和5年9月15日

3 買物環境の状況等

（1）店舗の状況

- ・ A コープ赤碕店は、琴浦町役場分庁舎、JA 鳥取中央赤碕支所と隣接しており、旧赤碕町の中心部に位置している。
- ・ 同店は、旧赤碕町地域における唯一のスーパーであり、食品・生活雑貨を扱い、近隣住民の生活を支えている。
- ・ 旧赤碕町の住民、公共交通利用の高齢者等にとっては、最も近いスーパーとして一定の需要がある。
- ・ 同店では、食材の配達業務を行っており、旧赤碕町地域のこども園では、給食食材を購入し、当日早朝の配達を受けている。
- ・ 地域内の特別養護老人ホーム、社会福祉協議会、琴の浦高等特別支援学校、船上山少年自然の家についても、食事の提供のため、同店から食材を購入し、配達を受けている。
- ・ 店内設備（陳列ケース等）が老朽化しており、更新時期となっている。
- ・ 営業継続のためには、設備更新が必要であるが、投資額が高額であること等の課題から A コープ赤碕店の閉店が決定された。

（2）承継等の状況

- ・ 同店は、東宝企業が承継することで JA 鳥取中央と基本合意されている。
- ・ 店舗の建物・土地は、JA 鳥取中央等の所有のままであり、東宝企業は賃貸により入店する見込みである。
- ・ なお、更新が必要な店舗内設備については、東宝企業により整備を行う計画となっている。
- ・ 営業再開は、A コープが閉店したのち、2～3週間後を予定している。

（3）閉店による影響

- ・ A コープ赤碕店は、東宝企業にて営業継続される予定であり、その場合は地域住民の生活環境に大きな影響は、生じないと考えられる。

- ・ 食材の配達業務については、東宝企業により継続される予定となっているが、実施にあたり人員体制や車両の準備のほか、当日早朝から前日への納入時期の変更、配達費用の加算など諸条件の調整が必要となっている。
- ・ また、こども園において給食食材が前日納品となった場合に、保管するための冷蔵・冷凍設備が不足することが判明しており、対策が必要となっている。

4 既存支援策の有無、概要

このたびの承継に該当する町の既存支援制度はない。

5 買物環境確保のための支援内容

(1) 基本方針

町民の買物環境確保（暮らしの質の維持・買物難民対策）のため、旧町単位で少なくとも1店舗の食料品等の小売店舗（地域店舗）が営業継続できるよう支援を検討する。

(2) 具体的な支援内容・支援期間等

項目	具体的な支援策	規模	実施時期
買い支えによる地域店舗の維持・支援事業	こども園における給食食材の購入継続に伴う、配達時間の変更（当日の早朝から前日の日中）に対応するための必要設備の導入 [冷蔵・冷凍庫整備費] ・ふなのえこども園 842 千円 ・ことうらこども園 929 千円	1,771 千円	R5 年度 ※予算 議決済
合計		1,771 千円	